

(例)

<様式4-1>

振興会受付欄 ※この欄は記入しない	
----------------------	--

令和9年度 個人研究助成「1年次交付申請書」

1 研究者

【学校名： ○○○ 立 ○○○ 学校】
【職名： ○○ 】 【氏名： ○○ ○○ (ふりがな ○○○ ○○○)】
【教職経験年数： ○ 年】 【年齢： ○○ 歳】

2 研究領域

【研究領域番号： 141 】 【研究領域： 総合的な学習(小) 】 【研究対象学年： 5年 】

3 研究主題

「自ら追究し続ける子の育成」(かかわり合いを大切にした授業づくり)

4 研究主題設定の理由

本学級の児童は、与えられた課題に対してまじめに取り組む子が多い。授業では、答えが明確な問題に対する解答や簡単な感想を言うことには積極的な姿が見られる。しかし、自分の考えをすすんで発表したり、仲間の意見を聞きさらに考えを深めて、探っていこうという意識は弱い。学びに対して受け身な子どもたちが少なくない。

そこで、仲間とかかわり合い、考えをすりあわせながら、自らの学習問題に向けて、追究を進められるようになってほしいと考え、研究主題を「自ら追究し続ける子の育成」(かかわり合いを大切にした授業づくり)とした。

5 研究内容

【仮説】

- ・ 自分事となる学習問題が生まれるような単元を構想すれば、問題解決に向けて自ら粘り強く考えることができるだろう。
- ・ 必要に応じて かかわり合いの場や方法を工夫すれば、自分の考えを見つめ直し、学びを深めることができるだろう。
- ・ 地域の人々とつながり、学ぶ喜びや達成感を味わう場を工夫すれば、自分の考え方を広げ、身近な生活や社会に生かすことができるだろう。

【手だて】

- ・学習問題との出あわせ方の工夫や子どもの思いでつなぐ単元構想
- ・自分の考えを確かなものにしたり，新たな問いが生まれたりするようなかかわり合いの場の工夫
- ・現地調査や地域の方々へのインタビューなど，地域の「ひと・もの・こと」とつながる場の設定

6 研究計画

5月	☐ 単元の決定 総合的な学習の時間「おいでん，三谷！～ぼくらのまち，ステキ発見！」
6月	☐ 授業案検討，作成
6月 ～11月	・三谷のまちの今と昔を比べて，違いをみつけ出す。 ・三谷のまちの「ステキ」について個人追究を進める。 ・調べたことを学級で共有し，新たな気づきや疑問をもつ。 ・調べたことや疑問を確かめるために現地調査をする。 ・市内の他の人気スポットの現地調査も行う。 ・現地の人々の話や地域の方々の話を聞くことで，人々の思いに触れ，話し合いを重ね，「地域のために自分たちに何ができるか」を考えていく。 ・自分たちで考え，計画したことを実行する。 ☐ 研究のまとめ（論文執筆）

※次年度も，学年に合わせて研究を続けていく。

令和 年 月 日

愛知教育文化振興会理事長様

上記の研究に対する研究費の助成を申請します。

学校名 _____ 氏名 _____ (印)

上記の者の申請を認めます。 _____ 校長名 _____ (印)